

万華鏡

甲府商業高校 図書室
令和8年1月
NO. 7

2026年がスタートしました。今年の目標は決まりましたか？
それぞれの目標に向かって、さあ、一步を踏み出しましょう！

図書室では、みなさんが読書の楽しさを知るきっかけとなるような本を
たくさん紹介していきたいと思っています。



図書室からのお願い



◎ 3年生のみなさんへ

3年生は、2月から自由登校になります。図書の返却をしてない人は、
1月22日（木）までに返却してください。返却されない場合は、紛失扱いとし、
その手続きをしなければなりません。必ず期日までに返却をお願いします。

古本市

昨年12月17日（水）から12月19日（金）まで
図書室で「古本市」を開催し、盛況に終えることが
できました。

売上は、図書の購入に充てさせていただきます。
ご協力ありがとうございました。

雑誌頒布会

2/10日（火）～2/13日（金）昼休み・放課後

1年前の雑誌を配布します。

教室に放置することなく、必ず持ち帰ってください！



新着本紹介

『見えない妻 聴こえない夫』

篠原通良／著 中央公論新社

書籍紹介：目が見えない妻・高田千明と耳が聴こえない夫・高田裕士。ともにプロの陸上
選手の夫婦は、息子に金メダルを掛けるため、パラリンピック、デフリンピックで闘い
続ける。感動のノンフィクション。

『小泉セツとハーンの物語』

三成清香／著 少年写真新聞社

書籍紹介：NHKの朝ドラ、『ばけげん』の主人公のモデル・小泉セツと、ラフカ
ディオ・ハーンが、日本の「怪談」を文学作品にして世界に伝える物語。国際結婚が
まだ珍しかった明治時代に、維新で没落した武士の娘セツと、両親に見放され欧米
をさまよった日本にたどり着いたハーンが出会い、言葉が通じなかったふたりが、日
本の古い物語を英語の作品に仕上げ、怪談文学として世界に伝えていくまでを物語
にしている。それぞれ苦しい生活を送ったふたりが、どのように心を通わせて、
現代に残る名作を誕生させたのか、その秘密を探る。

『しずくと祈り「人影の石」の真実』

朽木祥／著 小学館

書籍紹介：原爆投下後、石段に焼きついた人影の真実。広島平和記念資料館に展示されて
いる「人影の石」。それは、原爆の強烈な熱線で石段に残された黒い影。これはだれの影
なのか？その人はどうしてそこにいたのか？原爆投下後、その人はどうなったのか？
「人影」がだれのものなのか、どうしてこのような形で残ったのか、当時の目撃情報、
遺体を収容した兵士の証言などから解き明かす、真実をたずねて伝える物語。

- | | |
|--------------------------------------|------------------------------|
| ★『慈雨の人』 伊予原新／著 新潮社 | ★『高校生のためのアドラー心理学』 岸見一郎／著 アルテ |
| ★『生きる言葉』 俵万智／著 新潮社 | ★『13歳から身になる読書術』 大居雄一／著 メイツ出版 |
| ★『戦場の人事係』 七尾和晃／著 草思社 | ★『言語化するための小説思考』 小川哲／著 講談社 |
| ★『文章教室』 八木義徳／著 中央公論新社 | ★『日本ご当地スーパー大全』 角田光代／著 新潮社 |
| ★『春の星と一緒に』 藤岡陽子／著 小学館 | ★『14歳のヒロシマ』 梶木淑子／著 河出書房新社 |
| ★『編めば編むほどわたしはわたしになっていった』 三國万里子／著 新潮社 | |
| ★『運命を変えるチャンスはなぜか突然やって来る』 今村翔吾／著 岩波書店 | など… |



返却期限が過ぎていませんか？

夏休み前に借りた本を返していない人はすぐに返却しましょう。

